

人権・平和・環境

あしだがわ

発行

南部生涯学習センター
 福山市沼隈町草深 1889 番地 6
 (沼隈支所 3 階)
 TEL 980-7713
 FAX 987-2382

【公民館】

泉 951-1557 熊野 959-0001 内浦 986-3535
 山手 951-9381 水呑 956-3943 常石 987-3839
 津之郷 951-1002 高島 956-0219 千年 987-3188
 赤坂 951-1001 鞆 982-2664 山南 988-1981
 瀬戸 951-1003 走島 984-2550 能登原 987-4460
 明王台 952-3511 内海 986-3722

【コミュニティー・館】

山手 951-5679
 瀬戸 951-1809
 鞆 982-1882
 熊野 959-0943
 能登原 987-2559

E-mail:nanbu-syougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市ホームページ (URL:<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>) からキーワード「あしだがわ」で検索

《南部人権問題講演会事業 報告》

心温まる秋の陽だまりコンサート

金子みすゞの世界&秋の歌

11月27日(土) かつみ市民交流センターでソプラノ歌手の中川しのぶさんをお迎えし「心温まる秋の陽だまりコンサート～金子みすゞの世界&秋の歌～」を開催しました。

中川さんは「内海を訪れるのが初めてで、リゾート地に来たみたい、海がきれいですね。」と会場をわかされました。みすゞさんの詩をソプラノで歌われ、マイクを使わない生の声に会場の皆さんは聞き入っていました。「みすゞさんの詩には命を愛おしむものがたくさん残されています。全ての戦争も差別も迫害もお互いをすばらしいととらえず否定的なことから始まります。みんな違って認め合うことが理想の社会を作るのです。」と話されました。秋の歌では、「小さい秋見つけた」を歌いだすと、会場の中でも口ずさむ人が何人もいました。最後はオペラの楽曲ラウレッタのアリア「わたしのいとお父様」を歌われ、会場に響く歌声にみなさん驚きと感動で拍手がなりやみませんでした。

かつみキラキラドーム花壇で育てたバラの花束が内海小学校6年生の代表から手渡されコンサートを終えました。



《済美校区人権問題講演会 報告》

人権ってなんだろう？...

～阪神・淡路大震災が教えたもの～

12月3日(金) 瀬戸コミュニティセンターで「人権ってなんだろう？～阪神・淡路大震災が教えたもの～」と題して全国隣保館連絡協議会会長の中尾由喜雄さんの講演会を開催しました。



中尾さんは、「1969年に同和对策特別措置法ができて同和地区は環境改善から整備されていった。上宮川センターやその地区は、その後耐震補強工事が終わったばかりだったので、建物がしっかりしていた。1994年におきた阪神淡路大震災では、上宮川センターに地区内外から400人あまりが避難し、数ヶ月にわたる避難生活を送った。同和对策事業は同和地区の人のみならず多くの命と財産を守り、安心安全なまちづくりが行われたことが実証された。避難所では地区の人が地区外の人に対していろいろな場面で最大限の気配りをした。差別された人は差別する人の気持ちを変えていく大きな力、やさしさ・温かさがある。人権文化が豊かと言うのは、地域の人と人がつながることであり、地域防災も同じことがいえる。差別は人と人の出会いやふれあいをじゃまする。一生のうちにどれだけの人と出会うことができたかが人間が高まるうえでの条件となる。」と話されました。